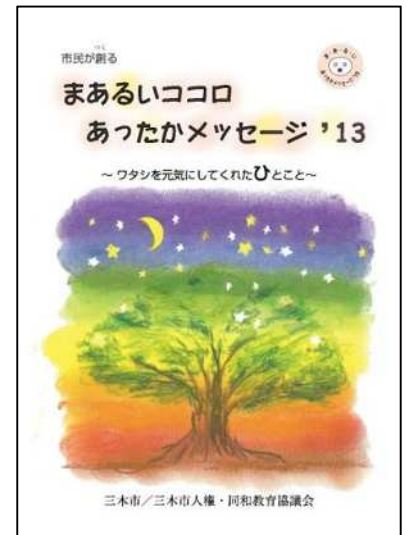


じんけんリーフレット作成事業

昨年度に続き、今年もじんけんリーフレット作成事業を実施しました。今年のテーマは「ワタシを元気にしてくれたひとこと」。「何かに失敗してひどく落ち込んだとき、進学・就職・結婚など人生の岐路に立って悩んだときかけられた言葉で元気が出たり、一歩前へ進めたような経験はありませんか？」このような誘いに、3,095点ものメッセージが寄せられました。その中から三同教役員による最終選考を経た31点を「まあいいココロ あったかメッセージ '13」にまとめました。このリーフレットを見て、一人でも多くの方々に元気や勇気が伝わりますように…このような願いをこめて各学校や公民館などに配布しました。

メッセージをお寄せくださった皆さま、本当にありがとうございます。



じんけんカレンダー作成事業

上記の「じんけんリーフレット」の中から、さらに6点を選んで4月始まりの「じんけんカレンダー」を作ります。カレンダーを見ていただきながら、人権を身近に感じ、味わってもらえるようにと、メッセージの文字を書道家にお願いしました。1,000部作成し、市内学校、園の各クラスをはじめ、公民館、自治会等の関係機関に配布する予定です。

人権紙芝居貸出のご案内

平成22～24年度に作成した人権紙芝居を子どもの学習資料として広く使用してもらうため、このたびDVDを作成しました。集録作品は「山のおんがくか」「頌徳碑～この道に続け～」 「あおむしのまるちゃん」の3作品です。ある小学校では、DVDを流しながら紙芝居をめくって子どもたちの人権学習に活用されました。

紙芝居・DVDともに貸出できますので、幼稚園・保育園、小学校や、地域の子ども会の行事などにもご利用ください。



じんけんサポート事業

3年目になるこの事業は、今年も43団体、61件に対して助成しました。小学校、中学校、特別支援学校のPTAの他に今年も幼稚園や保育園、自治会が積極的に人権学習に取り組まれました。幼稚園では親子ふれあい体験活動、自治会では主にツラッティ千本や水平社などへの視察研修に行かれました。PTAでは、生命の大切さや子どもの安心・安全を考える講演会、ネット被害について考える講演会など多くの事業が実施されました。

老若男女を問わず、みんなが人権を守るためにより一層の人権意識を高められることを願っています。



じんけんスタディ事業

市内中・高校生の人権意識や知識を高めるための研修会などに経費の一部を補助する事業として2年目の「じんけんスタディ事業」。青少年期にぜひ学んでほしい人権課題、たとえばインターネットによる被害の防止や男女の正しいあり方を学ぶ「デートDV」など、今年度は12校の18回の事業に補助しました。受講した生徒からは、「人の気持ちを考えることは大切だと思った。普通の暴力だけでなく、言葉の暴力も怖いと思った」「スマートフォンのSNSを軽くみてつぶやいたりしていると、トラブルに巻き込まれる危険があることがよくわかった」などという感想が多くありました。改めてこの事業の意義と成果を確かめることができました。



第 29 回三木市人権・同和教育研究大会報告

平成 25 年 11 月 16 日、「基本的人権を尊重する気運を高めるとともに、部落差別をはじめあらゆる差別を解消する教育内容を構築しよう」をテーマに 400 人を超える方々が三木市文化会館に集い、開会行事の後、8 つの分科会に分かれて研究・討議を行いました。



就学前教育

就学前の豊かな心を育むための教育（保育）内容を創造し、実践しよう。

《感想》

- ・自分の子どもが通う幼稚園以外の様子を知ることができて良かったです。このような会を通して保幼小の関わりが深まってくれるのは親として嬉しいことです。
- ・グループ討議があったので、一人一人が意見を言うことができた。少人数だったので、意見交流がしやすかった。

集団づくり

同和問題の解決、人権の確立をめざし、互いに認め合い、共に生きようとする仲間づくりをすすめよう。障がいのある人とともに学び、育ちあう環境をつくりあげよう。

《感想》

- ・各園、学校の取組を情報交換する中で、集団づくりについて学ぶことができ、見つめ直すことができたように思います。今日のことを日々生かしていきたい。
- ・班ノートはやったことがなく、班同士のコミュニケーションや考えを知る機会にもなり、参考に見ようと思いました。

同和・人権・平和学習

同和問題をはじめ、さまざまな人権問題の解決に向けた学習活動をすすめよう。

《感想》

- ・子どもたちの発達段階に応じて人権について学習をつみあげていく大切さを感じました。
- ・ネットいじめについて、とても大きな課題を投げかけていただきました。情報モラルの教育をより充実したものにしていく必要性を感じました。

進路・学力保障

差別を見抜き克服する力と自己の進路を切り開く意欲を高めるための取組をすすめよう。

《感想》

- ・中高の先生方の実践を聞かせていただき、取組がよくわかりました。小学校のうちに積んでおく力、つけておく力も見えてきたように思います。
- ・研究討議、指導助言で話していただいた内容について、今後活用していきながら、学校全体としての取組を提案し、実施していきたい。



PTA

PTA として、同和・人権・平和学習の取組をすすめよう。

《感想》

- ・都志小との交流に感動しました。50 年も続いており、あたたかさが伝わってくるような取組で素晴らしいと思います。
- ・研究大会に参加して、人権について考えることができ、子どもと「人権について」話してみようと思いました。

教育事業

地域等における学習活動の取組をすすめよう。

《感想》

- ・今後の教育事業の在り方、運営のための一つの方向性を考える場となったように思う。
- ・様々な地域における取組を交流することで課題や今後の方向等について考えることができた。

企業・職場

差別のない明るい職場づくりをめざし、取組をすすめよう。

《感想》

- ・肥後タクシーの CSR の取組紹介はよかった。職場を見つめることから…。再度、安心して働く場所であるかどうか確認したい。

人権と共生

人権を尊重し、共に生きる社会を築くために同和・人権・平和学習の取組をすすめよう。

《感想》

- ・実践発表が参考になった。他地区の人と意見交換ができ、ふれあい交流が図れた。
- ・小グループで「参加者を増やすために」話し合いをし、多くの良い意見が出たのが良かった。



住民学習会・モデル事業スタート

三木市で住民学習会がスタートして40年以上になります。長年の取組によって人権についての市民の皆様の意識や知識はかなり高まってきました。しかし、同和問題をはじめとして解決しなければならない人権課題などがまだ多くあり、今後も引き続き学習していく必要があります。

一方、長年の取組の中でビデオ視聴による学習のマンネリ化や役員などの参加者の固定化など、様々な問題も指摘されています。こうした現状を変え、より多くの人に参加しやすい住民学習会とするため、今年度から「住民学習モデル事業」を始めました。具体的には各地推協で2地区を指定し、モデルとして多様な取組をしていただきました。「じんけんサイコロくん」や「まちの地図 おかしいところは？」などの参加体験型学習、アイマスクや車椅子などの福祉体験、水平社博物館やツラッティ千本などへの視察研修、啓発冊子「土農工商はなかった」などを使っての学習など。今後、モデル事業が各自治会に広まり、住民学習会がさらに実りあるものになることを願っています。



FMみっきい「じんけんこころの小窓」



市民一人一人が日常生活の中で人権尊重の心を自然に態度や行動に表すことができる社会をめざして、人権の大切さを伝えるラジオ啓発番組を制作・放送しています。放送では、さまざまな人権問題にかかわる話題、市町等が実施する人権啓発事業の告知・募集等をお伝えしています。8月に放送された放送の一部を紹介しします。

マザーテレサの言葉

「この世で一番の大きな苦しみは、
自分がだれからも必要とされないことです。

この世で最大の罪は、
困っている人を見ながら、無関心でいることです。」

人は一人では生きていけません。多くの人とのかかわりの中で生活しています。そんな中で、周囲から自分の存在が認められることほど嬉しいことはありません。社会に少しでも役立っている自分を感じることで、より成長もしていけるのです。

地域のつながりが希薄化している今、まずはご近所さんとのあいさつから初めてみませんか？ニコッと笑顔を添えて…。

毎月第1・3水曜日
12:15～放送
(第2・4水曜日は再放送)

平成26年度 三木市人権・同和教育協議会関係 年間行事予定

月 日	内 容	場 所
5月17日(土)	三同教総会	市民活動センター
7月26日(土)	東人教研究大会	三木市
8月17日(日)	市民じんけんの集い(後援)	三木市文化会館
10月 4日(土) ～5日(日)	兵人教研究大会	洲本市
11月15日(土)	三同教研究大会	三木市文化会館他
12月 6日(土) ～ 7日(日)	全人教研究大会	香川県高松市
12月 6日(土) ～7日(日)	三木市立総合隣保館文化祭(後援)	三木市立総合隣保館

26年度
三木市で開催します！
東人教研究大会は